

2020 年度事業計画書

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人心の架け橋いわて

1 事業の計画

認定 NPO 法人 2 期目 (5 年間) を迎える年度にあたり、岩手県大槌地区を主たる対象とする長期被災地支援活動を継続するとともに、新型コロナウイルス感染という世界的緊急事態の中、定款第 5 条 5 「社会活動を行っている団体間の協力、支援、ネットワーク構築に関する事業」を強化し、同第 4 条 5 「国際協力の活動」に着手する。

従来からの被災地支援活動については、原則的に毎月第 2 および第 4 週末の活動とし、多職種専門家チームによるアウトリーチ (こころがけ訪問)、大槌活動拠点 (こころがけベース) におけるコミュニティ・カフェ運営 (こころがけカフェ)、他支援団体との連携による予防的啓発教育サロン (こころがけサロン)、他支援団体における支援者支援、災害メンタルヘルス専門家育成を活動の柱とする予定であるが、第 2 四半期までは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来の現地入り支援は困難となることが予想される。事態収束までは、大規模感染症に特有の不安やスティグマへの具体的対処法の啓発教育を、これまで培ってきた広報手段や ICT を活用して展開する。

国内外の団体間ネットワーク構築については、大規模感染症に伴うメンタルヘルス対策の観点からも福島県の「なごみ」、宮城県の「からころステーション」との連携を拡充し、当法人の母体である「JAMSNET 東京」との人的交流および国際協力をさらに進める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲及び 人数	事業費の金額 (千円)
①関係機関、団体との連携による、メンタルヘルスに関わる予防、啓発、相談事業	被災者支援活動：精神障がい者宅などへの多職種アウトリーチ相談対応、こころがけベース、住宅集会所、公民館などにおける相談対応 支援者支援活動：地域の高齢者、児童、障がい者支援団体における連携・協働 コミュニティ支援活動：こころがけベース、住宅集会所、公民館などにおける啓発教育的サロンの開催 現地入り支援が困難な時は、チャットやテレビ会議を用いた啓発教育を行う。	1 か月に 2 回 原則として金曜から日曜日 まで	岩手県大槌町および近隣地区	25 名	住宅訪問と相談対応：被災地住民 80 名 (延べ) 支援団体：町役場、社会福祉協議会、現地支援団体など サロン参加者：被災地住民および支援者など 800 名 (延べ)	7,508

②ICT 機器を活用したメンタルヘルスサービスの提供	インターネット、遠隔テレビ会議システムの活用により支援者間および関係団体との情報共有を効率化し、医療過疎地への遠隔メンタルヘルス支援を実施する。 遠隔オンライン被災者・支援者支援	随時 原則として隔週の週末	岩手県大槌町、同釜石市、同盛岡市、山形県山形市、福島県相馬市、東京都世田谷区、神奈川県横浜市、千葉県千葉市、静岡県静岡市など 岩手県大槌町および近隣地区	30 名	こころがけ活動メンバー25 名およびインターネットに接続できる環境がある関係者、特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会（なごみ）一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ（からころステーション）、JAMSNET 東京など	940
----------------------------	--	----------------------	---	------	---	-----

③災害復興に精通するメンタルヘルス専門家の育成	日本精神神経学会への参加および発表	9 月	宮城県仙台市	2 名	学会参加者約 5,000 名	800
	日本精神科救急学会への参加および発表	10 月	高知県高知市	2 名	学会参加者約 500 名	
	世界精神医学会への参加および発表	10 月	タイ国バンコク	2 名	学会参加者約 2,000 名	
	多文化間精神医学会への参加および発表	11 月	東京都港区	2 名	学会参加者約 400 名	

④社会活動を行っている団体間の協力、支援、ネットワーク構築に関する事業	遠野サイエンスカフェへの講師派遣	9 月	岩手県遠野市	2 名	慶応大学リーディング大学院スタッフ、岩手県の教員、自治体職員、学生など約 30 名	100
	なごみ、からころステーションとの共同シンポジウム開催	未定	福島県福島市	6 名	東北地域の被災地支援者など約 100 名	100
	2011 年以降の活動記録書の作成、印刷、配布。今後の活動に関するニーズ調査。	9 月まで	盛岡および東京	6 名	当法人新旧活動メンバー、被災住民、産学官民の被災地支援関係者	1,000

資料 4-1 : 2020 年度事業計画書

	なごみ、からころステーション、JAMSNET 東京との新型コロナウイルス関連メンタルヘルス啓発教育事業	5月から		4名	東北地域の被災地支援者など約3,000名	200
--	---	------	--	----	----------------------	-----

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
⑤国際協力(あるいはその他)	新型コロナウイルス関連メンタルヘルス啓発教育事業 (JAMSNET 東京共催) *詳細は添付資料に記す。	2020年7月 - 2021年3月	日本およびタイ国バンコク	5名	海外在留邦人、産学官民の支援関係者約10,000名	2,000

(2) その他の事業